

「第六回全国高校生金融経済クイズ選手権『エコノミクス甲子園』」が開催される ～奈良大会優勝の東大寺学園高校が全国制覇!!～

「エコノミクス甲子園」は社会に羽ばたく前の高校生に、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているか理解して読み解き「自分のライフデザイン」や「自分とお金の関わり方」をクイズを通して考えてもらうきっかけとするため、内閣府・文部科学省の後援のもと開催されています。第6回目にあたる今回は、奈良大会優勝の東大寺学園高校が1月21～22日の全国大会に挑み、見事優勝を果たし、副賞のニューヨーク研修旅行を獲得しました。

1. 「エコノミクス甲子園」の概要

「エコノミクス甲子園」は、全国の高校生を対象として、クイズ形式（筆記および早押し等）で金融知力を競わせながら金融経済の教育を行う内閣府・文部科学省後援のイベントで、今回、6回目の開催となります。イベント全体の企画および全国大会の主催者は内閣府認証のNPO法人「金融知力普及協会」で、予選にあたる地方大会（今回は25か所で開催）は、趣旨に賛同する各地の地方銀行等が主催しています。

2. 奈良大会（予選大会）

奈良大会は第4回大会（2009年度）から開催され、南都銀行がCSR（企業の社会貢献活動）の一環で、金融経済教育にかかる具体的取り組みとして主催しています。

第6回大会（今年度）は2011年12月18日に南都銀行研修センターにて開催され、28チーム・56名が参加しました。

予選ラウンドとして全員による「チーム戦の筆記試験」と「早押しクイズ」の2ラウンドが行われ、上位6チームが決勝ラウンドに駒を進めました。決勝ラウンドは、第1ステップの「ボードクイズ」をクリアしたチームが次の「ダブルアンサークイズ」の挑戦権を得るという2ステップ制で行われました。

優勝したのは、東大寺学園の「イノベーション」チームで、東京で行われる全国大会への出場権を

獲得しました。

<奈良大会出場校：9校 28チーム>

私立	智辯学園奈良カレッジ 帝塚山 東大寺学園 奈良学園 西大和学園
県立	畝傍 大淀 香芝
国立	奈良女子大学附属中等教育学校

<奈良大会の結果>

優勝	東大寺学園「イノベーション」
準優勝	東大寺学園「チーム・アリアリ」
第3位	帝塚山「ナウローディング」

<奈良大会のダイジェスト>

◆予選第1ラウンド『筆記試験』

張り詰めた空気のなか、マークシート50問＋近似値問題1問をチーム戦で行ない、30分間の沈黙の中での熱い戦いが繰り広げられた。トップは100点満点中88点の好成績。

◆予選第2ラウンド『早押しクイズ』

難問を簡単に答え、会場から驚きの声上がるチームがある一方、最終問題を前に誤答で一回休みとなり、痛恨の表情を浮かべるチームがあるなど、大いに盛り上がったラウンドとなった。



予選ラウンドの様子（左：第1ラウンド、右：第2ラウンド）

◆決勝進出チーム発表

予選の結果以下の6チームが決勝ラウンドに進出。

1位	東大寺学園「イノベーション」
2位	帝塚山「ナローディング」
3位	東大寺学園「チーム・アリアリ」
4位	奈良学園「カマモウロ」
5位	畝傍「銀鷲」
6位	智辯学園奈良カレッジ「セントラルバレー」

◆決勝ラウンド1『ボードクイズ』

予選ラウンドを勝ち抜いた強豪チームだけにレベルの高い戦いになり、第1問から第3問までは全チーム正解。第4問で早くも、東大寺学園の「イノベーション」と「チーム・アリアリ」がダブルアンサークイズの挑戦権を獲得。

◆決勝ラウンド2『ダブルアンサークイズ』

難問を多数用意し、クリアにはかなりの苦戦を予想していたが、最初の挑戦で東大寺学園「イノベーション」の2人が見事に正解し、全国大会への出場権を獲得。



決勝ラウンドの様子(左)と優勝した東大寺学園「イノベーション」の両名

3. 全国大会

地方大会を勝ち抜いた25チーム・50名が東京・お台場に集結。1月21~22日の2日間の日程で激戦が行われた結果、奈良県代表の東大寺学園「イノベーション」が並みいる強敵を下し、第6回大会の優勝者となりました。(3年ぶり2度目の優勝)

<全国大会のダイジェスト>

◆第1ラウンド『筆記クイズ』

4択、穴埋め、論述等の問題で、50分間で45問を解く。地方大会より難しい問題が続出した。

◆グループによるプレゼンテーション

「震災復興に役立つソーシャルベンチャーを考案

せよ!」というテーマでグループ(1グループ5校)毎のプレゼンが行われた。1位のグループは準決勝進出が決まる重要なラウンドで、東大寺学園が属するグループが、廃校舎を活用したカフェを提案し1位となった。2位以下のチームは、準決勝進出をかけた以下の3つのルートのうち1つを選択。



プレゼンクイズテーマ作成(左)とプレゼン風景

◆ルート①『クイズ ナナマルサンバツ』

一般的な早押しクイズで、7問正解で勝ち抜け、3問不正解で敗退のルール。

◆ルート②『B to Cクイズ』

一般的なボードクイズを10問正解したあと、10問の論述問題から1問を選択。

◆ルート③『魔の札勘バトル』

模擬紙幣で指定された金額を正確に勘定できたチームが四択クイズに挑む。

◆準決勝『クイズニュースキャスター』

空欄を埋めながらアナウンサー役が読んだ記事原稿をコメンテーターが解説。東大寺学園のテーマは「TPP」。

◆決勝『リスクマネジメントクイズ』

50万円からスタートして100万円に到達したチームが優勝。問題文が途中まで読まれた時点でチーム毎に保険加入の有無を判断。誤答の場合は保険金が支払われダメージが軽減されるが、掛け過ぎると保険料負担により100万円到達が遅れるというルール。



優勝決定の瞬間